

2009年11月20日

## セグウェイジャパン、東北大・京都大・IRSと共に 自律移動の研究開発に必要なソフトウェアを公開

セグウェイジャパン株式会社(社長:大塚 寛、本社:横浜市)は、国立大学法人東北大学(田所諭教授、仙台市)、国立大学法人京都大学(松野文俊教授、京都市)、特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構(以下、IRS、高森年 神戸大学名誉教授、神戸市)と共に、屋外移動に重点をおいたモビリティ・ロボット用のソフトウェアの公開を開始します。

公開するソフトウェアは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)「次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト」(以下、知能化 PJ)で開発中の成果をもとに、モビリティ・ロボットのソフトウェア技術をRTミドルウェア(※)に対応させ、ソフトウェアをコンポーネント化し公開していきます。

これまでセグウェイジャパン、東北大学、京都大学、IRSでは、レスキューロボットのセンシング技術や自律移動技術などの研究・開発を進めてきましたが、これらの技術をモビリティ・ロボットにも対応させ公開します。その第一弾として、セグウェイジャパンより販売中の移動ロボット研究開発支援用プラットフォーム「Segway RMP」「Blackship」の利用者を中心に、開発中のコンポーネントの一部を無償提供します。さらに、ロボットの操作に必要なコンポーネント向けのアプリケーションを Apple 社製「iPhone」および「iPod touch」に対応させ、App Store で近日中の無償公開を予定しております。

今後は各コンポーネントの性能と利用性の向上を図ると共に、公開の拡充を行い、利便性の向上を図ります。これにより、電動車イス型ロボットなどの、自律移動ロボットの開発を飛躍的に促進させる事が期待できます。

また、公開するコンポーネントの一部は、11月20日(金)および21日(土)に開催される屋外自律移動ロボットの実証実験「つくばチャレンジ(Real World Robot Challenge=RWRC、主催:ニューテクノロジー振興財団)」にて、東北大学と京都大学のそれぞれのチームのロボットで評価を行い、今後の性能向上に役立てます。この成果と、公開コンポーネントを11月25日(水)から11月28日(土)まで開催される「2009国際ロボット展(主催:日本ロボット工業会、日刊工業新聞社、会場:東京国際展示場)」に出展します。

### <ご参考>

※ RTミドルウェア

RTミドルウェアは、ロボットを構成する要素(アクチュエータやセンサなど)やロボットを制御するソフトウェアを、コンポーネントとして部品化するための技術です。RTミドルウェアを利用することで、部品化されたソフトウェアコンポーネントを組み合わせることで、多様な機能を持つロボットシステムを容易に構築することが可能です。

### RTミドルウェアについて

URL <http://www.is.aist.go.jp/rt/>

### つくばチャレンジ 2009 RWRC (Real World Robot Challenge)について

URL <http://www.robomedia.org/challenge/index.html>

### 2009国際ロボット展について

URL <http://www.nikkan.co.jp/eve/irex/>

出展ブース No : **SR3-4** 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) ブース内  
**SRT-13** RT 交流プラザ内

<商標登録>

商標についてはそれぞれの所有者に商標権等が帰属しています。

- コンポーネントに関するお問い合わせ先  
セグウェイジャパン株式会社  
RT ミドルウェア窓口  
[openrtm@segway-japan.co.jp](mailto:openrtm@segway-japan.co.jp)
  
- 報道関係者からのお問い合わせ先  
京都大学 松野研究室 五十嵐広希  
TEL : 075-753-5235  
[openrtm@segway-japan.co.jp](mailto:openrtm@segway-japan.co.jp)